

地質標本館グッズ「日本群島地質図 風呂敷」と 大日本帝国地産要覧図

中島 礼¹⁾・都井 美穂²⁾・瀬戸口 希²⁾・常木 俊宏²⁾

1882年(明治15年)に地質調査所が創立されて今年で140年目を迎える。創立されてから7年後の1889年に、お雇い外国人として来日したドイツの土壤学者M. フェスカが編纂した「大日本帝国地産要覧図」(農商務省地質局, 1889)が刊行された。これは日本最初の農業地図帳で(米地・藤原, 1995), この中には23枚の主題図が含まれている。その中の一つに, 日本列島全体が初めて図示された

地質図「300万分の1日本群島地質図」(原田豊吉作成)がある。地質標本館では, GSJの研究成果を幅広い世代に普及するため, 研究成果を素材としたオリジナルグッズを作成しており, 創立140年に合わせ, この「日本群島地質図」を素材とした風呂敷を作成したのでここで紹介する。また, 「大日本帝国地産要覧図」の主題図の一部も紹介する。

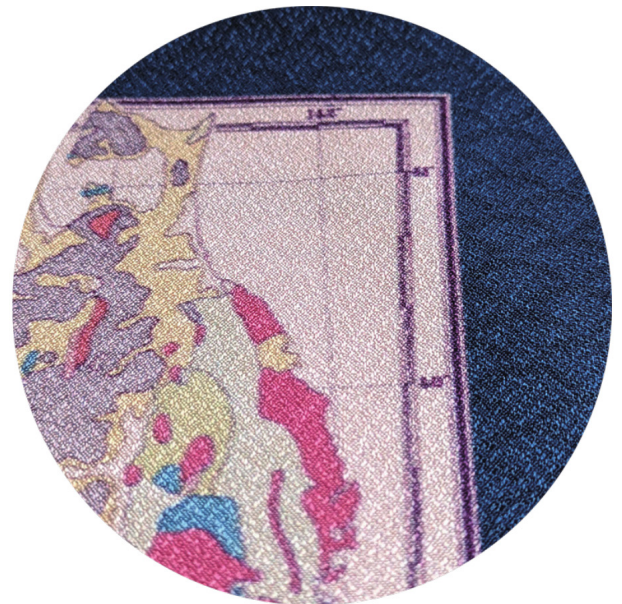


写真1 風呂敷のデザイン。

左：風呂敷全体。

上：部分拡大。全体に薄く青海波の模様が入っている。

サイズ：縦70cm×横68cm

材質：ポリエステル

生地：メロンアムンゼン



写真2 風呂敷の包み方の例。左：瓶包み、中央：平包み、右：四つ結び。

1) 産総研 地質調査総合センター地質情報研究部門

2) 産総研 地質調査総合センター地質情報基盤センター

キーワード：地質標本館グッズ, 風呂敷, 日本群島地質図, 大日本帝国地産要覧図

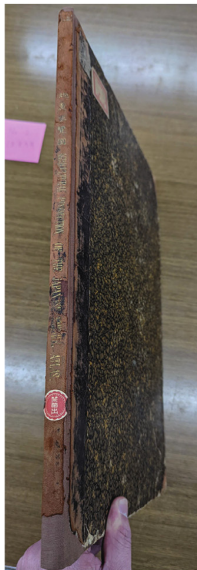


写真3 「大日本帝国地産要覧図」.
地質図ライブラリーに保管
されているオリジナル。

本所編ニ儲外國人并ニ各主任ノ技術官アレテ帝國地産及其生産ニ關
スル調査ノ事項ヲ調査セシメテ其成績ニ依リテ明治二十二年地産
要覧圖ヲ刊行セリ今其說明書ノ地産論成ル依テ茲ニ之ヲ刊列ス
明治二十四年三月 地質調査所

別冊地産要覧圖中山系水脈及ヒ全國地質一覽圖ハドクトル原田豊吉
氏ノ編製セシモノナリ此際全國土性圖モ共ニ編入セント欲セシモ
當時ノ功程ハ比例尺十萬分一ノ土性圖ハ僅カニ全國四分一ノ陸羽ニ
過キズ且之レヲ縮小シテ圖紙ニ編成スルモ種別區分ニ障礙ヲ生レ
底實行スルニ能ハザレバ以テ之ヲ受ニテ之ヲ措ケリ
別冊地産要覧圖ハ明治二十年及廿一年ノ調査編成ニ依リテ而レテ各
地産收録ハ明治十八年ノ生産額最モ中康ヲ得タルヲ以テ之ヲ採用シ
ストト雖モ昔年ノ農産統計ハ全國ヲ通テ完備セシメニアラ
ザルヲ以テ一部分ハ此統計ニ依リテ其他區域ノ如キ者ハ半年ノ收獲ニ
少シク劣ル所アリト雖モ止ムヲ得ズ明治十七年ノ生産ニ基キテ編
成セリ
余カ本論ヲ草スルニ當リ檢レル所ノ主眼ハ直接ニ農民ニ資セントス
ルモノニアラズレテ現時日本ニ於ケル農業ノ改良計畫獎勵ノ局ニ當

写真4
「日本地産論 通編」(フェスカ編,
1891)による「大日本帝国地産要
覧図」の記述。
左:「大日本帝国地産要覧図」の出
版年が明治22年か23年か混乱し
ていたことがあったが、「日本地
産論」の前書きの2-3行目に「明
治二十二年地産要覧図ヲ刊行セ
リ」と記述がある。
右:「大日本帝国地産要覧図」には
「山系水脈」図や地質図の作者が書
かれていないが、「日本地産論」6
ページの2-3行目に「ドクトル
原田豊吉氏ノ編製セシモノナリ」
とある。本画像はGSJウェブサイト
にある「地質調査所 初期出版
資料デジタルアーカイブ」を使用。

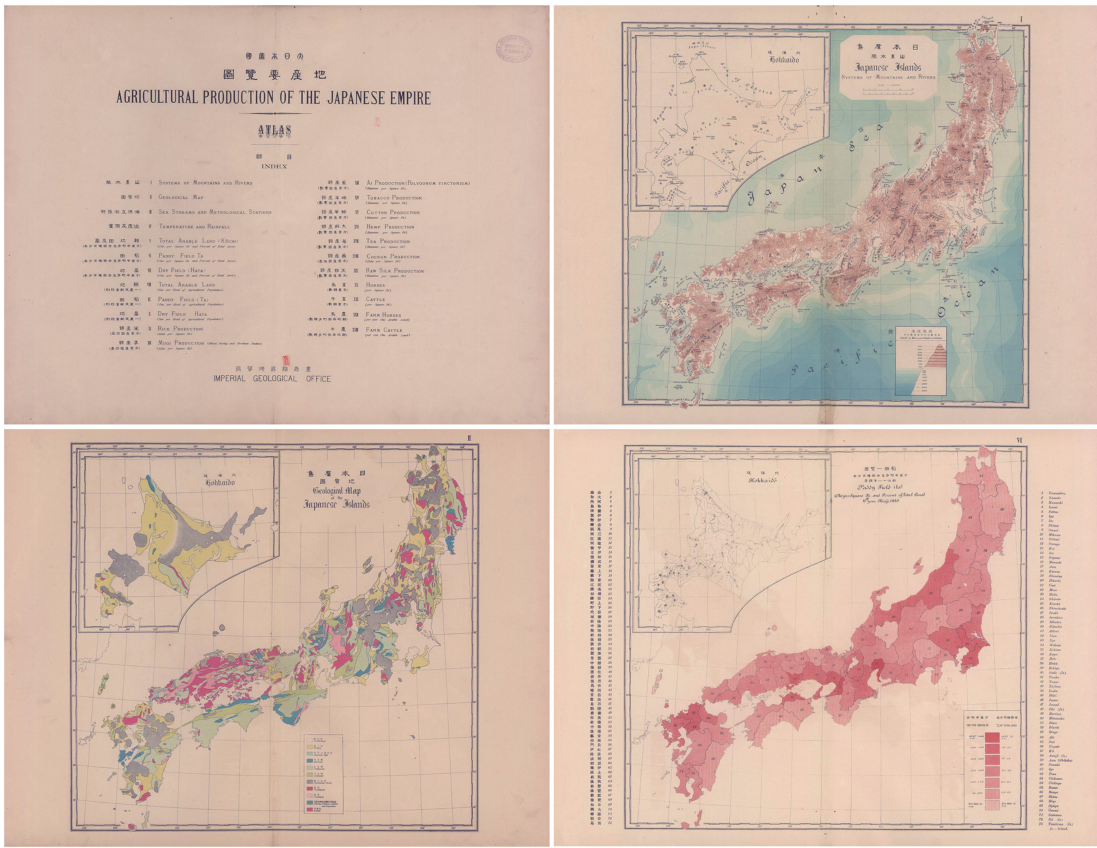


写真5 「大日本帝国地産要覧図」の目次と主題図の一部。
左上: 23枚の主題図が列記された目次。
右上: 「山系水脈」図。主要な山脈・山地や河川の名前が全国的な視野から初めて図示された地図。
左下: 「日本群島地質図」。日本列島全体の地質系統が初めて図示された地質図。
右下: 「稲田一覽図」。旧国ごとの稲田の面積が占める比率を示す地図。色が濃いほど高い比率を示す。
本画像はGSJウェブサイトにある「地質調査所 初期出版資料デジタルアーカイブ」を使用。

文 献

農商務省地質局 (1889) 大日本帝国地産要覧図. 農商務
省地質局, 48p.
フェスカ マキス編 (1891) 日本地産論 通編. 農商務省地

質調査所, 476p.
米地文夫・藤原隆男 (1995) 日本最初の主題地図帳「大日
本帝国地産要覧図」考 - その地図学, 農業史ならび
に地理教育上の意義 -. 地図, 33(2), 1-12.